

47期生 学年通信

Vol.12

2024.11.25 発行

★★「2年生になる準備」がはじまりました。

新2年生になる心構えをする時期がやってきました。

文化祭が終わった9月中旬。「新2年生 選択授業説明会」が行われ、個人面談等を経て、10月中旬に、新2年生へ進級した際に、選択する授業を決定しました。

来年度から実施される成瀬高校の教育課程改革に準じて、新2年生の選択授業も46期以前とは若干変更されました。より、国公立大学への進学を重視し、国公立文系で必要となる「数学 C」が2年次の選択授業から開講されるなど、新たな体制で、日本史・世界史・数学C・生物・化学・芸術より、3科目を選択します。

(詳しくは、成瀬高校公式HPのこちらをご覧ください ⇒[R7 成瀬高校学校案内.pdf](#))

夏休み中に行った、進路課題を経て(詳細は「[学年通信 9号\(20240717\).pdf](#)」をご覧ください)、具体的な学部学科への進学イメージをもてるようになった生徒もいます。一方で、やはり、明確な目標をもてずに、悩んでいる生徒もいます。学校でも担任や教科担当者が生徒と面談をおこなったり、進路相談を受けたりしました。御家庭でも、進路の話題がたくさん出たのではないのでしょうか。

豊かな専門性を身につけ、社会で活躍できる人物になるためにも、多角的な視野で世界に興味関心をもって欲しいと思っています。

冬休みにも、再び進路関連の課題を生徒に提示する予定でおります。御家庭でも、ぜひ、大学受験を目的とする学びではなく、「社会で活躍するための学び」について、話題にしていければ幸いです。

★★2学期中間考査が行われました。

2学期中間考査が行われました。

1学期の頃のような、「考査前になったら、考査用の勉強をすればよいのだ」という意識から脱却して、早いうちから、教科の先生に「試験範囲はどのへんまでになりそうですか？」と聞きに来て、計画的に取り組もうとする姿勢の生徒が増えたように思います。日々の課題や小テストの積み重ねが、定期考査の対策になるという意識に切り替わった生徒は、着実に学力の伸びをみせてきます。

趣味や遊びの時間も大切です。学ぶ時間と、睡眠時間とのバランスを重視して、生活のリズムを整えられるよう、学校でも折々で伝えていきます。

★★ 模擬試験が行われました。

定期考査後の10月末日、模擬試験が行われました。(なお、1年生は、国数英の3教科ですが、2年生はこの時期から、理社も加わり次の段階へ入ります)

模試は、本来、受験直後に自己採点を行って解き直しをすることが、とても重要になります。しかし、今回の模試日程は“統一実施日”という日付より前の実施にせざるを得なかったため、解答を配布することができず、問題用紙も回収のため、実施直後に解き直しをすることができませんでした。

そのため、模試終了後に、国数英の授業担当者より、実施された模試問題の中から、特にポイントとなる問題についての解説を行っていただきました。

後日、回収した問題と解答を配布すると、自分から自己採点を始める生徒も多くおり、模試に対する意識が高い生徒が多くいるのだと、改めて感じさせられました。

一般的に、1年生の秋の模試は、なかなか伸び悩むものです。しかし、ここで、**現状の「プラス15分」学習する時間を増やすことができる生徒は、その後の成績で伸びを見せることができます。**(模試を実施している業者の担当者さんが、実際に示してくださるデータに基づいています)

模試の結果や、考査の結果が伸び悩んでいても、めげることなく、日々の生活の中で学習時間を少しずつ伸ばして欲しいと思っています。

★★ 「台湾修学旅行」の事前学習が、はじまります！

11月初旬。2学年が修学旅行に行きました。(46期は、広島・関西方面の国内修学旅行です)

その間、1年生の担任2名は、来年度の修学旅行準備に向けて、台北で実地踏査を行ってまいりました。この内容を踏まえ、11月下旬より、台湾修学旅行に向けて、学年集会などで事前学習を行ってまいります。

学年通信でも、その様子をお伝えしてまいります！



★★「防災教室」を行いました。

2年生が修学旅行に行っている間、1年生は1日かけて防災教室を実施しました。

午前中は「AED 訓練」「初期消火活動」「煙体験」「簡易担架をつくっての、救助訓練」「放水訓練」のプログラムを、順に体験。午後は、『東京マイ・タイムライン』の作成方法を動画で学んだのちに、実際に自宅の近くのハザードマップを調べて、『東京マイ・タイムライン』の作成を行いました。

生徒たちの活動に対する自己評価は、4段階評価(数値が高いほど積極的に取り組んでいる)で、「3.48」と高く、とても充実した経験となったようです。

特に、役に立ったと感じた訓練内容として、AED 訓練と煙体験&救助訓練。次いで初期消火訓練を上げる生徒が多くいました。具体的な感想には、

「煙の怖さがとても伝わってきた」

「既成の担架がなくても、丈夫な棒2本と毛布だけで簡単に人を運ぶことができるというのは、災害が起きたとき以外でも、役に立つ知識であると感じた」

「もし学校にいるときでも、友達が心肺停止になったら、自ら心臓マッサージをして、誰かに AED をもってきてもらったり、119番をしてもらったりと、指示もスムーズにしなければいけないということ、改めて感じた」

「AED を使うことは難しいことだと思っていたが、使ってみると思っていたよりも簡単に使うことができた」

「消火器が家にあるが、使い方がはっきりとはわかっていなかった」

「消火器を使ったことがないので、もし消火器が使える場面にてあったとしても、この講習がなければ使えなかったと思う」

といったコメントを残してくれています。高校生では、「自助」「公助」という言葉で、何か災害がおこった際には、ただ助けられるだけの存在ではなく、「自らを助ける力」と「公の場で助ける力になる力」が求められます。社会の一員として、力を発揮できるような、知識と経験を身につけられるような学習行事を、これからも企画していきたいと思います。



【消防署の方から講演】



【毛布と竹2本でつくった担架】

【煙体験】



*体験用の煙なので甘い香りがします。

【消火器訓練】



【放水訓練】



【AED 訓練(使用法の説明を聞いているところ)】

★★ 今後の予定

- 11月:台湾修学旅行事前学習
- 11月:合唱祭準備、開始
- 12月:期末考査
- 12月:ごみの捨て方講演会
- 12月:探究 DAY
- 1月:合唱祭に向けた練習
- 2月:合唱祭

【次回更新予定】

台湾修学旅行事前学習、合唱祭練習についてなどを話題に、12月中旬に更新したいと思います。

